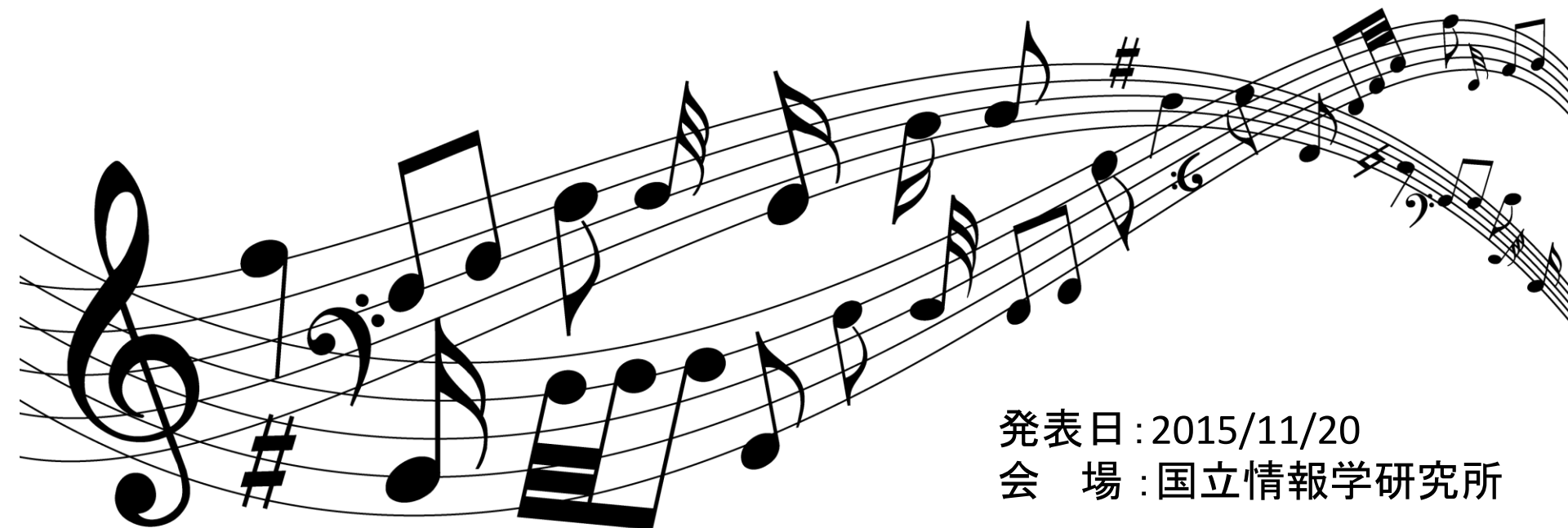


平成27年度学術情報リテラシー教育担当者研修 グループ討議成果物

■テーマ:連携協力 / 5班

「理想のアンサンブルを目指して」



発表日: 2015/11/20
会 場: 国立情報学研究所

情報リテラシーがうまくいかない...

- ・学生が集まらない
- ・ニーズがつかめない
- ・図書館が十分に
活かされていない気がする...

⇒ 教員連携の面から
解決の糸口を探りたい



教員連携における問題点

- 先生の顔が見えない
- 先生が忙しい、図書館に来ない
- 職員が授業内容を分かっていない
- 職員に対する信頼不足

⇒つまり…

職員、教員が お互いのことをよく知らない

デザイン①

1) 先生方への働きかけ

- ・担当する教員を決めて研究室訪問
- ・新任教員へのアプローチ (face to face)
- ・先生向けのポートフォリオを作成して手渡し
- ・打ち上げに参加するなど呑みゅニケーション

= 先生方のにじりよる、距離感を縮める

デザイン②

2) 職員の自己研鑽も必要

- ・シラバス、カリキュラムを学ぶ
- ・FD、SD研修会などに積極的に参加

= 先生方と話すための共通言語を身に付ける

リデザイン！



これらによって...

- ・授業の聴講に行かせてもらう
- ・教員からレポート課題を図書館に渡してもらう
⇒ 資料の選定、リテラシー教育へのヒントに
- ・先生方とガイダンスや講習会の組み立ての相談ができる
⇒ 内容や教えられる人などについてアドバイスを受けたい

学生・教員・図書館による 理想のアンサンブル

図書館が学内資源として有機的にいきる

